

光

明

妙智寺 寺報 3月 246号

フキノトウ

旬は2月～3月。そのまま天ぷらや煮物、和え物、味噌汁に調理して食べるが、かつては薬用として用いられたことも。



冬眠から目覚めたクマが最初に食べるのがフキノトウだという。

特有の苦味やえぐみ（舌にまとわりつくような苦さや、不快な苦い味）

は本来、植物が動物に食べられないための自衛手段だが、

クマはその成分が眠っていた身体能力機能を蘇らせ、体内の毒素を排出してくれることを知っているらしい。

もちろん人間にも同じ効果がある。

（越前若水より）

体内毒素も危険であるが、心内毒素（「^{とん}貧・^{じん}瞋・^ち痴の「^{さんどく}三毒」など）はもっと怖い。

お題目という「仏の種」をたべて、普段心に溜まった毒素を排出し、「仏の姿」を蘇らせたい。

3月 26日(日) 午後2時

春季彼岸大施餓鬼会

タチビ

地域によって、先祖や親の命日を「タチビ」という。

(又、そもそも葬列の出発前に飲食を断つから「タチビ」というとも)

なぜ「タチビ」というのか

①亡者が他界に旅立つ → 立ち日 (タチビ)

②その日に断ちものをして精進する → 断ち日 (タチビ)

参 考

めいにち
命日とは・・・故人が死んだ日に当たる、毎月のその日。きじつ忌日とも。

しょうつきめいにち
祥月命日とは・・・一周忌以後における故人の死去の当月当日。

しょうき 正忌・しょうめいにち 正命日ともいう。

ところで、

みなさんは「命日」といえば、どなたの命日を思い出しますか？

または誰の命日を覚えていますか？

ちなみに私は「13 日」です。

その日は宗祖日蓮大聖人の命日だからです (10 月 13 日)

毎月 13 日は、肉魚・酒・卵さえも口にしない「精進料理」にしています。

そう私にとって 13 日は「タチビ」です。

「タチビ」に「断ち日」して何になるの？

宗祖や故人から見れば思い出してくれるばかりか、努力(精進)もしてくれて嬉しいと仰ると思います。

そして、宗祖や故人から「ご守護」というお返しを賜るのです。

『命日は生きている人のため』

誰にも必ずある「タチビ」をどう過ごしますか・・・。

月1度のその日に、何かできることをさせていただく、何かを控えさせていただくなど、恩人や先祖などに自分のできる何かを手向けるならば、ひるがえって自身のためになるものなのです。

★第120回 妙智寺和讃会は

3月21日(日) 午前9時・・・和讃講習

午前10時・・・生け花講習

※お花の準備がありますので欠席の方は12日までにご連絡下さい。

2月の妙智寺の様子 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

2/2 Y家 厄除け祈祷

2/8 池上本門寺 声明指導

2/11 I家 厄除け祈祷・水子回向

2/12 N家施餓鬼(祥月)

2/12 N.H家施餓鬼(祥月2霊)

2/12 T.S家施餓鬼(祥月4霊)

2/12 I.K家施餓鬼(祥月3霊)

2/17 合同供養・祈願祭(野村家等)

2/19 Y家水子祥月命日忌供養

2/4 I家 四十九日法事

2/11 S家 通学安全ランドセル祈祷

2/12 T家施餓鬼(祥月)

2/12 U家施餓鬼(祥月)

2/12 S.E家施餓鬼(祥月)

2/12 S.T家施餓鬼(祥月2霊・先月祥月)

2/13 M家 総先祖施餓鬼

2/18 K家家屋改修作業完成・仏壇開眼

2/25 藤野家 個人祈祷

3月 行事予定

□3月 1日(水) 午後2時

月例水子供養会

- ・回向札(白紙札)と牛乳・菓子を持参ください。
- ・生まれ得なかった《いのち》の供養です
- ・『永遠のいのち』を説く「自我偈(P21)」を5回読誦します

□3月 5日(日) 午後2時

月施餓鬼・鬼子母神祈禱会

- ・登録の霊位を経木塔婆に書写し、施餓鬼供養いたします。
 - ・※4月より更新です。
 - ・祥月命日や年回忌・縁のある先祖に特別施餓鬼供養します。
※なるべく早くご連絡下さいますと幸甚です
 - ・鬼子母神さまを開帳し、ご祈禱いたします。祈願を受け付けます。
 - ・持ち歩き用 方除け守授与。
 - ・各家守護神法楽。酒や塩等、持参下さい(守護神様に・家の水周り等に)
 - ・各種 相談もお受けします。
 - ・妙法水を持参ください。
- ※ 涅槃図を掲げお釈迦様の涅槃を偲びます。

□お題目になる唱題行・法話会・・・12日(日) 午前7時

お題目を唱え、お題目を聴いて、お題目を感じ、お題目を知り
自身が「お題目になる」時間です。

今月の縁日

3/7 甲子(大黒さまの縁日)

3/19～3/24 春季彼岸

3/21 彼岸中日／てんしゃ び天赦日／いちりゅうまんばい び一粒万倍日